

社会福祉法人 晴山会

障害福祉サービス事業所 (多機能型)

すみだ晴山苑

生活介護事業 クルン / 放課後等デイサービス事業 キララ

《キララ》





開設当初は低学年が多かったキララですが今では高学年の児童が多くなりました。年齢を重ねることで色々な成長があり、お兄さんお姉さんになったなあと感じることが増えてきました。また毎年新しい児童がキララを訪ねて来て下さり学生という多感で大事な時期のお子様に関わらせて頂け嬉しく感じる毎日です。

私はキララを運営するにあたり、一つだけ絶対に守ろうと決めていることがあります。それは自分のこどもを預けても良いと思える場所であることです。自分のこどもを預けたくない、不安に思う所に大事なお子様をお預かりする訳にはいきません。同じ子を持つ親として最低限守らなくてはいいことだと考えています。

放デイのガイドラインにこのような文章があります。「個々の子どもの状況に応じた発達支援を行うことにより、子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図るものである。」

また東京都は「お預かりだけににならないように、個々の療育を行って下さい。」と指導しています。放デイは子どもの利益を守り成長の助けになる場ではなくてはなりません。

キララで今提供している療育はまだ十分とは言えないかもしれませんが、ですがキララに通って良かったと思って頂けるように努めて行きたいと思えます。少しでも体が楽になるように出来ることが増えるようにスタッフと協力して取り組んでいきます。

またお子様のことで何かご不安なことがありましたらいつでもご相談ください。少しでもお手伝いできればと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。



主任 中村 俊哉
(サービス管理責任者)

《クルン》



すみだ晴山苑 三年を経過して

平成三〇年五月よりすみだ晴山苑クルンがスタートし三年が過ぎました。

ご利用者さま、ご家族様とたくさんお話しながら、またご意見を頂きながらの三年間でした。

毎年ご利用者さまがとても楽しみにしている外出活動や秋祭り、他施設との交流も新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発出により規模縮小または中止になってしまいうなど十分な活動が出来ず、とても残念でなりません。そのためクルンの中で楽しく出来る事をご利用者さまと一緒に探しながら日々の活動として取り入れて参りました。季節の移ろいを感じられる様に創作活動では季節に合った作品作りや、笹で作る大きな笹飾り、お正月前の餅つき大会などは今後も続けていきたいと考えております。そして今年もまたたくさんの植物や野菜を玄関先で育て始めました。水やりをしているとご近所の方が「何を育てているの?」「大きな実が出来たね。」と話しかけてくださり、地域参加の一環としてもとても有意義な活動となっております。皆さんと成長過程や収穫を楽しみたいと思います。

最後になりましたが、新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言等によるご利用の調整ではご利用者の皆様ご家族様は大変なご不便をおかけいたしました。まだまだ終わりの見えないコロナ禍ですが、毎日安全に安心してご利用できるすみだ晴山苑として皆様をお迎え出来るよう支援員一同力を合わせ頑張ります!



主任 鹿間 久美
(サービスマネジメント責任者)

《誕生会》



おうちで
応援!

パラリンピックも
STAY HOME

おうちで楽しむパラリンピック

こまめに
手洗いをする



タオルや歯みがきの
コップなどは
共有しない



大皿料理は避け、
一人分ずつ
盛り付ける



会話をする時は
家でもマスク



ドアノブや
電気のスイッチなどは
こまめに消毒する



目、口、鼻などウイルスが
入る部位をできるだけ
触れないようにする



定期的に換気をする



対面では
長時間話さない



【写真の人の顔は仮名】